

米代川水系流域治水プロジェクト【位置図】

R6.3更新(2.0策定)

～秋田県北の発展と共いのちとくらしを守る地域が一体となった治水対策を推進～

- 平成19年の豪雨に伴い、米代川沿川で多くの浸水被害が発生したことを踏まえ、河川改修や森吉山ダム等の整備を進めてきたが、更に国管理区間においては、気候変動（2℃上昇時）による降雨量増加（1.1倍）を考慮した昭和26年7月洪水（前線）＜上流部で戦後最大＞及び昭和47年7月洪水（前線）＜下流部で戦後最大＞と同規模の洪水に対して**現行の治水安全度を確保し、家屋浸水の防止等、流域における浸水被害の軽減を図る。**
- 米代川水系では、国、県、市町村等が連携し、河川整備に併せて**気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化、流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等を踏まえ、将来に渡って安全な流域を実現するため、特定都市河川浸水被害対策法の検討を行い、観光資源や地域産業（米作を基幹とした農業、国内最大規模の国産木製材・透析器世界シェア1位を誇る医療機器製造などの産業）を支える安全・安心なまちづくりのため、河川管理者以外のあらゆる関係者が連携し、水田貯留の取組拡大、ため池等の活用、内水被害を軽減するための流域対策等、更なる治水対策を推進する。**
- 河川整備を始めとした治水対策の推進にあたっては、二ツ井MIZBEステーション等の水辺空間の活性化を図り、更なる賑わいの創出も目指していく。

位置図



マイタイムライン普及促進(市)

立地適正化計画の策定、防災指針の策定(市)

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削の推進、堤防整備等
- ・土地利用や地域特性を踏まえた治水対策
- ・利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
- ・開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置指導
- ・雨水貯留浸透施設整備(調整池) ・ため池等の活用
- ・水田貯留(田んぼダム)の取組拡大
- ・砂防堰堤の新設及び既設砂防堰堤の機能改良、流木対策
- ・特定都市河川の検討 ・森林整備、治山対策エリアの拡充
- ・インフラDXによる河川管理の高度化 ・内水被害の軽減



河道掘削



砂防事業

■被害対象を減少させるための対策

- ・防災拠点等の整備拡大
- ・立地適正化計画の策定・見直し
- ・立地適正化計画に基づく防災指針の策定
- ・住宅や商業施設等の高上げ支援
- ・雨水管理総合計画の策定

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置拡大
- ・教育機関と連携した出前講座・防災教育の更なる拡充
- ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水害リスク空白域の解消
- (中小河川のハザードマップ、内外水リスクマップの作成)
- ・内水浸水想定区域図(下水道)の作成
- ・避難体制等の強化 ・水害伝承の取り組み促進
- ・MIZBEステーションの利活用促進



敷地高上げ支援の例



マイ・タイムライン講習会



凡例	
	浸水想定区域(高頻度 1/10)
	浸水想定区域(中高頻度1/30)
	浸水想定区域(中頻度1/50)
	浸水想定区域(中低頻度1/100)
	浸水想定区域(想定最大規模)
	土地利用等を踏まえた治水対策
	河道掘削
	大臣管理区間

※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。 ※流域治水プロジェクト2.0で新たに追加した対策については、今後より具体的な対策内容を検討する。